

撮影会

ワット・アソカラム

場所： Soi Sukhaphiban 58, Tambon Tai Ban, Amphoe Mueang, Samut Prakan

サムットプラカーン県にあるワット・アソカラムは1962年にタンマユット派の僧、リー師によって建てられた寺院です。僧が守るべき13の規範の象徴である13の仏塔が一つになった純白の仏塔「プラ・トゥタンカ・チェディー」や、リー師の遺骨が納められた「ウィハーン・スッティタムランシー」が見どころです。



バンブーリゾートのカモメと夕日

場所： 164 Moo 2 ,Tambon Bangpoo, Sukhumvit Rd, Amphur Muang, Samutprakarn 10280

名称：バンブ保養地 (Bangpu Vacation)

1934年にバンコク市民のためにつくられた保養地。

敷地内には宿泊施設のほか、レストランや社交ダンス会場などが併設されています。

この保養地、実は日本とは深い関わりがあり、真珠湾攻撃と同日の1941年12月8日、旧日本軍約1,000名が、現在海上にあるレストランへ架かかすスックター橋へ上陸したという歴史があります。

説明によると、その際、旧日本軍はタイ陸軍と2km隔てた距離で向かい合い、一時緊迫した状態となりましたが、その後タイ政府との協力関係を結ぶための条約を締結したため、武器を用いたの戦いは辛うじて避けることができたとのこと。敷地内にはその出来事を記念する石碑が設けてあります。

またこの界限は海辺の環境を守るため、自然公園に指定されていて、200種類以上の野鳥やマングローブ林に棲息する生き物や植物を観測できます。

チベットやモンゴルなどから飛来するカモメたちの越冬地ともなっており、毎年11月から5月までの間、その様子を見ることができます。



実施日（日曜日）：2022年1月30日(日)

集合場所と時間：エンポリウムホテルロビー13時（マイクロバス利用）

およそのスケジュール

時間	場所	備考
13:00	エンポリウム	集合、出発
13:00-15:00	ワット・アソカラーム	写真撮影
15:00-18:30	バンプーリゾート	カモメと夕日の撮影（日没 18:00）
18:30-20:30	サラ・スカチャイレストラン	食事
20:30-21:30	エンポリウム	帰路順次解散

・撮影のポイント

飛んでいるカモメの捉え方と連写。

夕日をいかに赤く撮るか。

夕日とカモメの組み合わせ構図。

・持参するもの

撮影用具、飲料水、蚊よけスプレー。

・参加者はマスク着用厳守をお願いします。

マイクロバス乗車時、体温測定をします。

・費用

マイクロバス、食事代として 1,500 から 2,000 バーツ。当日集金します。

参加者の人数により費用が増減します。